

23年度予算概算要求組替え基準受け

本会基地協が緊急実行運動

【上】基地協実行運動班が原口総務相と面談、右から三沢市、大和市、福生市、小松市、佐世保市、総務相、千歳市、相模原市、舞鶴市、橋本徳・衆議院議員【下】北澤防衛相と面談



全国市議会議長会基地協議会（会長＝石川一郎・千歳市議会議長）は8月23日、緊急要望Ⅱ左掲Ⅱを取りまとめ、政府・与党に対し実行運動を展開した。

当日、実行運動班を構成したメンバーは会長のほか、相談役のうち▽馬場騎一・三沢市議長▽杉林憲治・小松市議長▽大野聡・福生市議長▽岸

浪孝志・相模原市議長▽国兼晴子・大和市議長▽池田正義

相模原市議長（右）が民主総務部門会議（左・福田座長）へ出席【下】吉田民主副幹事長と



浪孝志・相模原市議長▽国兼晴子・大和市議長▽池田正義

・舞鶴市議長▽浦日出男・佐世保市議長——が参加。原口



基地対策関係予算の所要額確保に関する緊急要望

我々基地関係市町村議会は、国家的要請である基地の安定使用に資するため、基地に対する地域住民の十分な理解と協力を得るべく生活環境の整備や住民福祉の向上等に鋭意努力しているところであり、基地交付金・調整交付金及び基地周辺対策事業は、その推進に不可欠なものである。

しかしながら、基地関係市町村の行財政運営は、近年の厳しい財政状況に加え、基地の所在に伴う特殊な財政需要の増大により、大変厳しい状況にある。

こうした中、政府においては、去る7月27日に「平成23年度予算の概算要求組替え基準について」を閣議決定し、各省に対し対前年度比一割削減の概算要求枠が設定されている。

基地交付金・調整交付金は、基地所在市町村が施設の所在に伴う財政需要に対処するため、固定資産税の代替的性格をもつ一般財源として交付されており、これまで、固定資産税の評価替えの翌年度に増額されてきており、平成22年度予算においても増額が図られている。

また、基地周辺対策経費については、国家補償的性格を有し、基地との調和・共存を図るための施策への対応は、国の責任において適切に行われるべきであり、確実に確保される必要がある。

よって、国においては、基地関係市町村の特殊性を十分ご理解いただき、基地交付金・調整交付金及び基地周辺対策経費を削減することなく、所要額を確保するよう強く要望する。

平成22年8月23日

全国市議会議長会基地協議会
会長 石川一郎
(千歳市議会議長)

第6回地域医療政策研究会協
セミナーを10月開催 本病院協
全国自治体病院経営都市議
会協議会（会長＝西條正道・
徳島市議会議長）では10月14
日の午後1時から、東京・都
市センターホテルで「第6回
地域医療政策セミナー」を開
催することといたしました。
参加申し込みは既に受付付
けており、先着順で定員の4
00人が集まり次第、募集を
締め切ります。参加費は、当
協議会加盟市が無料、未加盟
市が1人2000円。皆様の
参加をお待ちしております。
※募集の詳細は、本会ホーム
ページにてご確認ください。

一博・総務相、北澤俊美・防衛相、吉田おさむ・民主党副幹事長らと面談し、平成23年度基地対策関係予算への配慮を求めた。また、岸浪相談役は、同日に開催された民主党総務部門会議へ出席し、緊急要望に基づく意見を述べた。緊急要望の結果、総務相は基地・調整両交付金について削減対象としない考えを示した。同相は概算要求組替え基準の閣議決定を受け、義務的経費を聖域化しない方針を打ち出していた。なお、基地交付金は義務的経費に該当する。

平成22年度第1回

「監査委員特別講座」開催

市町村アカデミー主催

市町村アカデミーでは、全国の市町村の監査委員の方々を対象として、監査委員制度の役割、地方公共団体財政健全化法等の重要課題について学ぶ特別講座を昨年度より開催しています。

今回は、各分野でご活躍されている講師の方々による講義が行われる予定となっています。

多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

◆日時：平成22年11月1日(月) 13:00から
11月2日(火) 14:35まで

11月1日 講演

13:30~14:30「監査機能の充実・強化について」

総務省自治行政局行政課長 安田 充 氏

14:45~16:45「監査委員制度の役割」

明治大学大学院法務研究科教授 碓井 光明 氏

18:00~ 交流会(所内宿泊)

11月2日 講演

9:30~12:30「地方公共団体財政健全化法と財政改革」

明治大学公共政策大学院

ガバナンス研究科教授 兼村 高文 氏

13:30~14:30「監査委員に期待すること」

(株)地域活性化研究所代表・

ジャーナリスト 川島 正英 氏

※講演の内容等は、一部変更になる場合がございます。

◆場 所：市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)
(千葉市美浜区浜田1丁目1番)

◆申込期限：平成22年9月15日(水) ※定員50人

◆申込方法：参加申込書(市町村アカデミーのホームページからダウンロードできます)を郵送またはファックスしてください。

◆参加費：7,700円(宿泊費、食費等を含む)

◆決定通知：申込書受理後、決定通知に併せて必要な資料を送付いたします。

◆申込・照会先：〒261-0025 千葉市美浜区浜田1丁目1番

◆担 当：栗田・菅野 ☎043-276-3126(研修部)
FAX 043-276-8484 ホームページhttp://www.jamp.gr.jp

平成22年度第2回

「市町村議会議員特別セミナー」開催

市町村アカデミー主催

市町村アカデミーでは、全国の市町村議会及び東京都23区議会の議員の皆様を対象として、自治体が直面している重要課題や時局の話題を取り上げる宿泊型特別セミナーを毎年度開催しております。

今回は、「分権時代の地方議会」など、最新の情報をもとにそれぞれの分野で活躍されている講師の方々にご講演いただきます。

多くの皆様方のご参加をお待ち申し上げます。

◆日時：平成22年11月4日(木) 13:00から
11月5日(金) 12:30まで

11月4日 講演

13:30~15:00「分権時代の地方議会」

政策研究大学院教授 飯尾 潤 氏

15:15~16:45「日本政治の行方」

毎日新聞社論説副委員長 与良 正男 氏

11月5日 講演

9:30~10:50「商店街の活性化とまちづくり

～丸亀町商店街から学ぶ～

高松市丸亀町商店街振興組合専務理事

高松丸亀町まちづくり(株)取締役 熊 紀三夫 氏

11:05~12:25「新たな子育ての時代を迎えて

～自治体の役割～」

恵泉女学園大学大学院教授

NPO法人あい・ばーとステーション代表理事 大日向雅美 氏

※講演の内容等は、一部変更になる場合がございます。

◆場 所：市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)
(千葉市美浜区浜田1丁目1番)

◆申込期限：平成22年9月30日(木) ※人数に達した場合は選考等。

◆申込方法：参加申込書(市町村アカデミーのホームページからダウンロードできます)をファックスしてください。

◆参加費：10,000円(宿泊費、食費等を含む)

◆決定通知：申込書受理後、決定通知に併せて必要な資料を送付いたします。

◆申込・照会先：〒261-0025 千葉市美浜区浜田1丁目1番

◆担 当：船越・川邊 ☎043-276-3126(研修部)
FAX 043-276-8484 ホームページhttp://www.jamp.gr.jp

研究
室

03(3591)1261

※参加費は無料、申し込みは
東京市政調査会ホームページ

(http://www.timr.or.jp)

全国都市の特色ある施策集 の原稿作成にご協力を

23年度版

本会ホームページに 施策集全文を掲載へ

本会では、4年ごとに刊行
しております「全国都市の特
色ある施策集」の平成23年度
版をまとめるため、全国80
9市区(平成22年4月1日現
在)を対象に、本書への掲載
施策の原稿の作成をお願いし
ております。

23年度版では、「ひとつく
り・まちづくり」明日への挑
戦」をテーマとし、「ひと
と「まち」を結ぶ各市の創意
工夫を凝らした取り組みを中

心に残ることといたしまし
た。

また、本会では、23年度版
より本書の出版のみならず、

10月に「都市問題」公開講座

岐路に立つ地域医療

東京市政 調査会

(東京市政調査会が「都市
問題」公開講座を10月2日、
岩手県盛岡市にて開催します
ので、お知らせします。テーマ

は「岐路に立つ地域医療」。
地域医療の危機が叫ばれて
久しい現在、都市・農村を問
わず医師の不足や診療科目間

電子媒体を通じて本書全文を
本会ホームページに掲載し、
関係者をはじめ広く市民、国
民にご覧いただけるよう市議
会施策システム(以下「SS
S」)を構築しました。SS
Sは、本書全文を検索できる
ほか、原稿入力、寄稿等にも

ご利用いただけます。つきま
しては、各市議会事務局の皆
様をはじめ、施策担当の皆様
の積極的なSSSのご利用を
お願いいたします。なお、S
SSのほか書面・メールでも
寄稿いただけます。
本書の原稿依頼文やSSS

の偏在が指摘されています。
近年の地方財政の逼迫、自治
体財政健全化法の連結決算な
どにより、公立病院や診療所
の閉鎖・規模縮小が続出。少
子・高齢化の中でひとの命を
守る医療の重要性は一段と高
まっています。しっかりとし

【基調講演】貴田岡博史氏

(岩手県立遠野病院院長)

【パネルディスカッション】

▽天野巡一氏(青森公立大学

教授)▽熊坂義裕氏(盛岡大

学教授、前宮古市長)▽杉元

順子氏(医療ジャーナリス

ト)▽千葉茂樹氏(岩手県保

健福祉部長)▽新藤宗幸氏

(千葉大学教授) 司会

【問合せ先】東京市政調査会

研究

室

03(3591)1261

※参加費は無料、申し込みは

東京市政調査会ホームページ

(http://www.timr.or.jp)

マニュアル等は、8月10日付
で各市議会事務局長様宛にお
送りしております。

■寄稿締切日 平成22年10
15日(金)

■問合せ先 全国市議会議長
会調査広報部 担当 大仲

03(3262)5237

た地域医療を構築するには、
どうしたらよいのか。地域医

療に先進的試みを重ねてきた
岩手・盛岡の地で探ります。

【開催日時】10月2日(土)

13時30分～16時30分

【開催地】サンセール盛岡1

階「ダイヤモンド」

議会 トピックス

平成20年9月に「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律(教科書バリアフリー法)」が施行された。法施行を機に勸日本障害者リハビリテーション協会はボランティア団体の協力を得て、学習障がい(LD)など発達障がいのある児童・生徒に向けたマルチメディアデージー教科書の製作・提供を始めた。デージー(DAISY)とは、

本会ではこのほど、各市議会から任意に提供された、6月定例会を中心とした意見書・決議の議決状況を(上)(下)にまとめた。今回(上)では、子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求めるものが、意見書・決議を合わせて58件で最多となった。このほか、マルチメディアデージー教科書の普及促進を求める意見書が増加した。

は、Digital Accessible Information Systemの略。マルチメディアデージー教科書は、パソコンで教科書を再生するシステムであり、読み上げられた音声を

デージー教科書の普及促進が急増

6月定例会の意見書・決議の状況 (上)

意見書・決議の議決状況 (上)

(22.5.1~7.31)

件名	意見書	決議
【税・財政】	【76】	【0】
○地方財政の充実強化	35	—
○子ども手当の見直し・廃止	17	—
○財政の健全化	15	—
○その他	9	—
【地方行政・議会・選挙】	【50】	【3】
○永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対・慎重な対応を	39	—
○地方議会議員年金制度の廃止	3	1
○その他	8	2
【医療・保健衛生】	【196】	【3】
○子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成	56	2
○機能性低血糖に係る国の取り組み	33	—
○国民健康保険に対する国庫負担の見直し・増額	24	—
○ヒブ、肺炎球菌及び子宮頸がんワクチンへの公費助成	15	—
○子どもの医療費助成、無料化	13	—
○ヒブ、肺炎球菌ワクチン接種の公費助成	10	1
○B・C型肝炎患者の早期救済	8	—
○その他	37	—
【教育・文化】	【219】	【2】
○義務教育費国庫負担制度の堅持・負担率2分の1への還元など	56	—
○発達障がいや、その他文字を認識することに困難のある児童・生徒のためのマルチメディアデージー教科書の普及促進	49	—
○教育予算の拡充	42	—
○30人以下学級実現、教員賃金改善など	30	—
○少人数学級の実現	7	—
○その他	35	2
【農林・水産】	【184】	【3】
○口蹄疫対策の充実	49	2
○コメ戸別所得補償対策等の見直し	20	—
○農業農村整備事業に係る予算措置	20	—
○備蓄米買い入れと米価の回復・安定	15	—
○森林・林業の再生	10	—
○戸別所得補償制度の本格実施に向け、生産者が意欲と希望を持って営農に取り組める制度へ	8	—
○食品表示制度の抜本改正	7	—
○EPA・FTA路線の見直し	7	—
○その他	48	1
【公害・環境保全】	【16】	【0】
○石炭じん肺患者とトンネルじん肺患者の救済制度創設	4	—
○アスベスト被害者の救済	2	—
○その他	10	—
【合計】	【741】	【11】
【総合計】	【1,136】	【35】

耳で追いつつ、文字や画像を見ることが出来る。カラオケの画面を想像すると分かりやすい。21年12月現在、全国で約300人の児童生徒に利用され、学習効果を上げている。しかしデージー教科書は、制作に要する時間と費用がかさむ。ボランティア頼みの現状では、必要とする児童・生徒のニーズに答えられない。そこで意見書では、積極的な普及体制の整備や予算措置を国に講ずるよう求めている。

議会人事

▽議長	中村利久(6・9)
▽野田	安田義広(6・10)
▽所沢	茂手木直忠(6・10)
▽千葉	浅野正明(6・10)
▽船橋	竹内 裕(3・24)
▽副議長	高橋勝頼(6・9)
▽土浦	木村たか子(6・9)
▽さいたま	漆谷豊和(6・10)
▽野田	久保田茂男(6・10)
▽輪島	三瓶輝枝(6・10)
▽所沢	
▽千葉	

電話番号等変更

▽三郷市(埼玉県)
048(930)7768
※FAX番号については、変更なし

9月5日現在の市数

うち	809市
指定都市	19市
中核市	40市
特例市	41市
一般市	686市
特別区	23区